

文芸 六ふがわ

短歌

【石瀬短歌会】

うすずみの色に暮れゆく秋の日に来る
ことのなき人をおもへり

広沢 日出子

野菜畑の傍を流れる水の音やさしくな
りて秋はふかまる

大久保 富美江

駅からの道いっぱいに登校す烏天狗の
やうな一団

小林 美瑛子

山の端に立冬の月のぼりきて車窓より
見る澄みたるひかり

大関 登志子

古々しき「女人禁制」の碑をにらみ妻
は上りぬものともせず

瀧田 勇

夕五時に町に流れる「明日がある」明
るい日々を願いつつ聴く

古賀 澄

文化祭の受付に来るは旧知の顔月日は
経てど変わらぬ面差し

雨谷 友子

秋の日は西にかたむき冷え冷えと群青
色の山が迫り来

浜野 和操

わが知らぬ間に逝かれたる先生のさび
しげなりし面輪偲ぶ

渡辺 しな子

柿杉のむかうに望の月出でて暈を負ひ
たるみ仏かと思ゆ

瀧井 幸子

朝夕に丹精したる厚物は香りゆたかに
いま咲き誇る

泉 三郎

5Gの世に畑の小屋の対面販売足取り
軽く柿かかえ来る

久保 悦子

父の遺品整理進まず遅々としてはや東
に白き望月

川崎 邦子

ラジオから聞こえ来る「未完成」に目を
閉ぢてトロンボーンのパート譜を追ふ

鈴木 英雄

お土産に持たせし掘りたてのさつま芋
よろこぶ弟の電話待たれる

萩原 きのの

白髪染めもうやめようと決めたれど鏡
をみれば心が揺らぐ

石田 守子

【一般投稿】
紺碧の空に輝やく名月はながめる人の
心を照らす

鈴木 省一

俚謡

【さくら俚謡会】

虎の威力でコロナを鎮め北京五輪の和
が開く

山もみじ

国の借りものお金も土地もあの世は手
ぶらでゆくとこ

花野 しぐれ

アツという間に正月過ぎて咲いた椿に
春の雪

みな の川遊

何の事やら荒れている妻の今夜は家来
で腰をもむ

稲葉 建正

日向出てみりや古木の梅に花が一輪咲
き誇る

田 哲人

俳句

【一般投稿】

一滴のしづく聞きをり時刻む

長堀 芳江

令和4年

無料法律相談会 開催 2月27日(日)

初回無料・完全予約制です

弁護士法人
萩原総合法律事務所
筑西市乙828番3 SATOHビル2階
(JR水戸線下館駅南口徒歩1分)



ご予約はこちらから

☎0296-48-8875



※初回の方限定とさせていただきます。
※事情によりお断りさせていただくこともございます。

茨城県弁護士会所属弁護士 萩原 慎二・平久 真・藤井 宏治/風見 美瑠